お知らせ

令和8年度採用 栗原市会計年度任用職員募集

通年雇用・季節雇用・障害者雇用

●**雇用期間**　おおむね2カ月以上1年以内
●**募集する主な職種**
□**免許などが必要な職種**
保育士、幼稚園教諭、介護認定調査員など
□**その他の職種**　業務員、土木作業員、事務補助員など
●**申込期限**　11月21日(金)

随時雇用

●**雇用期間**　週の勤務時間が20時間未満または、2カ月以内
●**雇用時期**　業務が発生した都度雇用します。
●**募集する主な職種**
□**免許などが必要な職種**
保健師、管理栄養士、歯科衛生士など
□**その他の職種**　業務員、事務補助員など
●**申込期限**　随時受付

共通事項

●**試験方法**　面接、書類選考
●**申し込み**　募集要項と申込書↓は、11月4日(火)から人事課または、各総合支所市民サービス課で配布します。申込書に必要事項を記入の上、申し込みください。
※募集する職種や受験資格、申込書の提出先など詳しくは、募集要項を確認してください。

問 **総務部人事課**　☎(22)1159
教育部教育総務課　☎(42)3511

全国瞬時警報システム 全国一斉情報伝達試験

緊急地震速報などを瞬時に伝達する「全国瞬時警報システム(J・アラート)」の全国一斉情報伝達試験が行われます。

●**日時**　11月12日(水)午前11時ころ
●**試験内容**　国から配信された緊急情報を受信し、防災行政無線を自動起動させて、試験用の放送を市内一斉に流します。
※当日は、防災行政無線で午前10時に事前告知放送を行います。
※災害の発生状況、気象状況により、中止する場合があります。
●**放送内容**　防災行政無線から、次の内容が一斉に放送されます。
□「これはJアラートのテストです」(3回繰り返し)
□「こちらは防災くりはら広報です」
※安全安心メールによる配信はありません。

問 **総務部危機対策課**　☎(22)1149

栗原市礼遇者推戴式並びに表彰式を開催

●**日時**　11月23日(日)午後1時～
※午後0時30分開場
●**場所**　栗原文化会館
●**内容**

第1部　午後1時～
□陸上自衛隊音楽隊による栗原市誕生20周年記念コンサート

第2部　午後2時30分～
□地方自治の発展に尽力された人を礼遇者に推戴
□各分野で活躍された人を表彰

▲陸上自衛隊第6音楽隊

問 **総務部総務課**　☎(22)1122

市内の文化財散策

―㉔③ 経壇(きょうだん)

経壇は、瀬峰地区大鰐谷にある平安時代末期から中世にかけての塚群です。標高60メートルほどの「経壇山」と称する丘陵の頂部から、徐々に低くなりながら北東方向に延びる尾根上に、合計7基の塚が分布しています。これらの塚の1つから、布目瓦(ぬのめがわら)で蓋をした素焼きの瓶(かめ)が出土し、その中に銅製経筒(どうせいきょうつつ)があったとされています。

また、大般若経を埋めて藤沢村の安寧を祈願したことで、この付近を大般若と称したという伝説があり、後世になって大鰐谷という名前が付けられたとされています。

7基の塚はそれぞれ標高の高い方から3基と4基の2群に分かれており、尾根の最も高い場所にある塚は1辺約15メートルで、3方に土橋が作られています。この他の塚は1辺約4・8～7・2メートルの大きさで、そのうちの2基には盗掘された跡があります。

布目瓦や素焼きの瓶、経筒など、出土したとされるものの実物が残っていないため、それらが作られた詳細な時期や、塚群がどのような人々によって造られたのかなどは分かっていません。しかし、この場所の南側に位置する高清水地区影の沢には1辺9メートルの塚と板碑がある他、付近には来迎沢と呼ばれる場所があり、この辺り一帯は宗教的な場所であったと考えられます。

種別	市指定記念物(史跡)
指定日	昭和44年6月30日
所在地	瀬峰大鰐谷

▲経壇

問 **教育部文化財保護課**　☎(42)3515

自然災害との共生と豊穣の大地の物語

栗駒山麓ジオパークだより 108

問ジオパーク推進室
☎(24)8836
ファクス(45)5936

ジオパーク 市ウェブサイト　ジオパーク Facebook　ジオパーク LINE

ジオパーク活動によって結ばれた全国との絆

令和７年１０月現在、国内には４８地域のジオパークがあります。ジオパークの活動はどのようなものか、その活動によって結ばれた絆を紹介します。

●ジオパークとは

ジオパークは、地球誕生の歴史、地域の地質や自然が人々の暮らしや文化にどのように関わっているかを過去から学び、楽しみながら未来を考える場所です。大地の成り立ちを物語る地質や自然を保全し、教育や防災、地域活性化に活用することで、持続可能な地域を目指します。

この取り組みは、日本全国で行われていて、１０月現在、４８地域が日本ジオパーク委員会によって日本ジオパークに認定されています。

ジオパークは、地域ごとの特色があります。例えば、当ジオパークでは荒砥沢地すべりなどの災害跡地が防災・教育の題材として、蔵王ジオパークでは火山がもたらす恵みが地元産業の魅力として活動に生かされています。そして、それぞれが自分たちの地域に誇りを持ち、楽しみながら地域の未来を考えます。

●ジオパークになるには

認定には、地域と住民が一体になって地質・自然・文化を保全し、教育・防災などに活用した取り組みが必要です。活動状況は、報告書や現地調査で審査され、ジオパークに認定されてからも４年ごとに更新のための現地調査が行われます。

▲荒砥沢地すべり内部での再認定審査の様子(令和５年１１月)

●地域間のつながり

ジオパークは、同じ活動をする地域同士で経験・知見を共有し、発展してきました。各地のジオパークが集まるＰＲイベントや講演会など、ジオパーク同士が連携した活動も盛んです。

また、自然災害に関する情報を共有し、被災地支援も行っています。昨年発生した山形県・秋田県での豪雨災害後、当ジオパークではボランティアを募り、鳥海山・飛島ジオパークエリアで土砂出しなどを支援しました。

これからも、各地のジオパークと連携しながら、栗駒山麓の自然や文化が持つ魅力を全国に発信していきます。

▲東北地方のジオパークが集まったＰＲイベントの様子(今年５月)

栗駒山麓ジオパーク認定１０周年記念フォーラム開催

日本ジオパーク認定から１０年の振り返り、これからの未来を考える記念イベントを開催します。

●**日時**　１１月２９日(土)　午前１０時～午後３時
●**場所**　若柳ドリーム・パル
●**内容**　□記念講演　演題　「天気の達人　アマタツと考える気候変動と気象災害への備え」
講師　気象予報士 天達武史(あまたつたけし) 氏
□講演　世界ジオパーク関係者による講演
□アトラクション　栗原市合唱連盟による合唱
□その他　東北のジオパークによる体験イベント 他

▲天達気象予報士